

令和6年10月4日

令和6年度 第2回学校評議員会報告

本日、17:30～18:30に第2回学校評議員会が開催されました。

学校長からは、今年度の4月に3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果についてご説明し、ご意見をいただきました。

そして、最後に三中生のことについて気になる点について御指摘をいただきました。主なご意見・御指摘を以下に紹介します。

【全国学力・学習状況調査の説明を受けて】

- 三中はやっぱり学力が高い。他地区の保護者の人と話していても、「南千住の地域は学力が高いから」と言われる。
- こういう情報が小学校にも行くと、「学力の三中」という印象をもってもらえるのではないか。
- この地域は学力に対して関心が高い。父親同士で話をしても、みんな良く子どものことを見ている。
- 国語の「我が国の言語文化に関する事項」が全国平均並になっているが、学校でも図書館の活用を推奨しているように、もっと本を読んで語彙を増やしていけば、他の項目同様の高い平均正答率になるのではないか。
- 子どもたちが送っている、SNSのメッセージなどは一文が短い。そもそも文章の終わりに「。」をつけずに、あとは推測してくれって感じなのも影響しているのではないか。
- でも、記述式の正答率が高いのは、学校で校内弁論大会や調べる学習コンクールなどで文章を書く習慣を身に付けさせているからだと思う。

【三中生の気になること】

- 下校時に、信号のない大通りを集団で走って渡っていることがある。大人も渡っているのも悪いんだが。
- 友達としゃべることに夢中になって、歩道を4・5列になって歩いている場面を見ることがある。
- 速いスピードで、自転車で歩道を走っている子どもがいる。そういう子どもに限って一時停止の所を止まらずにそのまま走り抜けていくのでひやっとする。中学校でも、自転車の交通安全学習を取り入れてもいいのではないか。

子どもたちの安全・安心に関するご指摘につきましては、月に1回の安全指導などでも指導してまいりたいと思いますが、ご家庭のご協力もお願いいたします。